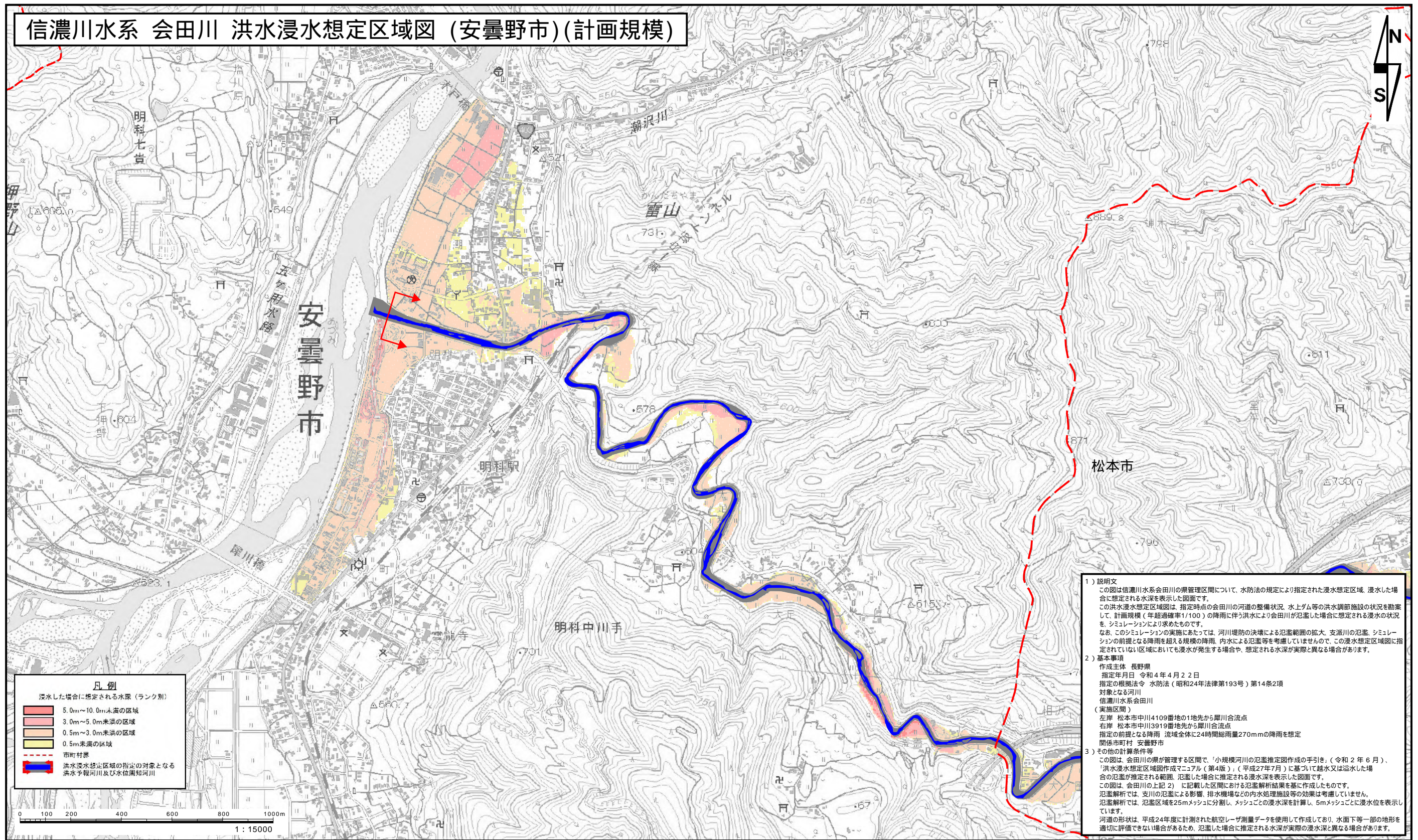


信濃川水系 会田川 洪水浸水想定区域図 (安曇野市) (計画規模)



凡例

浸水した場合に想定される水深 (ランク別)

	5.0m~10.0m未満の区域
	3.0m~5.0m未満の区域
	0.5m~3.0m未満の区域
	0.5m未満の区域
	市町村界
	洪水浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川及び水位周知河川

1) 説明文
 この図は信濃川水系会田川の県管理区間について、水防法の規定により指定された浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 この洪水浸水想定区域図は、指定時点の会田川の河道の整備状況、水上ダム等の洪水調節施設の状況を勘案して、計画規模(年超過確率1/100)の降雨に伴う洪水により会田川が氾濫した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。
 なお、このシミュレーションの実施にあたっては、河川堤防の決壊による氾濫範囲の拡大、支派川の氾濫、シミュレーションの前段となる降雨を超える規模の降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域図に指定されていない区域においても浸水が発生する場合は、想定される水深が実際と異なる場合があります。

2) 基本事項
 作成主体 長野県
 指定年月日 令和4年4月22日
 指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条2項
 対象となる河川 信濃川水系会田川
 (実施区間)
 左岸 松本市中川4109番地の1地先から犀川合流点
 右岸 松本市中川3919番地先から犀川合流点
 指定の前提となる降雨 流域全体に24時間総雨量270mmの降雨を想定
 関係市町村 安曇野市

3) その他の計算条件等
 この図は、会田川の県が管理する区間で、「小規模河川の氾濫推定図作成の手引き」(令和2年6月)、「洪水浸水想定区域作成マニュアル(第4版)」(平成27年7月)に基づいて越水又は溢水した場合の氾濫が推定される範囲、氾濫した場合に推定される浸水深を表示した図面です。
 この図は、会田川の上記2)に記載した区間における氾濫解析結果を基に作成したものです。
 氾濫解析では、支川の氾濫による影響、排水機場などの内水処理施設等の効果は考慮していません。
 氾濫解析では、氾濫区域を25mメッシュに分割し、メッシュごとの浸水深を計算し、5mメッシュごとに浸水位置を表示しています。
 河道の形状は、平成24年度に計測された航空レーザ測量データを使用して作成しており、水面下等一部の地形を適切に評価できない場合があるため、氾濫した場合に推定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

この地図は、国土地理院長の承諾を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。
 「測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 3JHf 476」
 「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」